



### 名足保育園新園舎が完成

昨年4月から国道45号枳沢地区と名足地区を結ぶ町道名足線に接する小長柴地内で工事がすすめられていた名足保育園の新園舎が完成しました。事業費は約1億800万円です。

園舎は木造平屋建て、面積は441.45平方メートル。施設内には日当たりの良い位置に保育室を3室設置、ステージを備えた遊戯室、調理・交流室なども設けられました。建具、壁など内部には地元木材が多用され、木の温もりを感じることができるようになっています。園舎脇には18台分の駐車スペースも整備されました。

前月まで港保育園に通った園児と、旧名足保育園の園児は、この新しい園舎に通うことになります。

### ありがとう 港保育園

3月23日(金)、「港保育園卒園式・閉園式」が行われました。式には園児や保護者、地域住民などが出席して、閉園を惜しみながらも別れを告げ、4月から小学校や新しい名足保育園での生活に期待でいっぱいの子どもたちを送り出しました。

港保育園は、昭和34年4月に港地区の故高橋いわ氏が開設し、その後、昭和52年4月から旧歌津町に移管されました。この間、港地区の多くの子どもたちを見守り、育て続けてきましたが、少子化による児童の減少など保育環境の変化により、3月31日(土)に48年間の長い歴史に幕を下ろすことになりました。

港保育園の園児は、4月から新しい名足保育園で、新しい友だちと保育園生活を送ります。



卒園証書を手にして



名足保育園の子どもたち (平成19年3月)



港保育園の子どもたち (平成19年3月)

港保育園幼年消防クラブの子どもたち



### 火の用心 子どもたちが火災予防を呼びかけ

2月27日(火)、港保育園の「幼年消防クラブ」が、歌津地区の各事業所を訪問し、火災予防を呼びかけました。

そろいの法被姿で事業所を訪れた子どもたちは、拍子木を打ち鳴らし元気いっぱいに「火の用心」と呼びかけた後、「ちびっこ消防隊の歌」を披露し、手作りの「火災予防絵馬」などを職員にプレゼントしました。



にぎわう展示即売場



繭細工体験コーナーでは、家族連れなどが、繭玉でかわいいおひなさま作りや、コサージュ作りを楽しみました。

おひなさま作りに挑戦



おひなさま展

隣接する松笠屋敷では「おひなさま展」が開催され、地域の家庭で代々受け継がれているひな人形や、子どもたちの手作りひな人形などが展示されました。

### 国際交流フェア

3月4日(日)、国際交流フェアが志津川保健センターで開催されました。このイベントは南三陸町国際交流協会が主催したもので、町内在住の海外出身者との交流を通じ、国際理解を深めることを目的に行われました。

会場には外国出身者10数名と母国から来日中の家族を含め約50人が集まり、日本のひな祭りと中国の旧正月の料理、琴の演奏などを一緒に楽しみました。

参加者は、着物を着たり、琴の演奏を体験したりと日本の文化を直接体験し、楽しい時間を過ごしました。



料理を食べながら交流

「さくら」「うれしいひなまつり」などを演奏

### ひころの里の春まつり

3月3日(土)、4日(日)の2日間、「ひころの里」シルク館を会場にシルクフラワーフェスタが開催されました。色鮮やかな繭花の鉢物などの展示即売が行われ、期間中たくさんの人出でにぎわいました。

繭花のコーナーには、梅やサツキなど、見事な鉢植えが並べられ、会場は春の彩りで飾られました。